

3月5日 ポンポン山

平尾 繁和

山名	ポンポン山 (678m)	山行名	例会
ルート	善峯寺～杉谷～フクジュソウ自生地～ポンポン山～本山寺～神峯山寺口		
山行日	2022年3月5日(土)	天候	晴れ後曇り
参加者	CL:平尾 SL:伊藤多 女性9名、男性2名 上田秀、大林、河野、倉光、玉井、徳田、永江、山下隆、吉田 /11名		

ルート概略 	コースタイム					
	地名	時:分	地名	時:分		
	善峯寺バス停	着	9:09	ポンポン山	着	12:55
		発	9:25		発	13:00
	杉谷	着	10:05	本山寺	着	14:00
		発	10:10		発	14:10
	杉谷分岐	着	10:50	神峯山寺	着	15:15
発		10:55	発		15:20	
フクジュソウ自生地	着	11:30	神峯山寺口バス停	着	15:30	
	発	12:25		発	15:45	

昨年初めて知人からポンポン山にフクジュソウ自生地があることを聞き2月下旬に見に行きました。例会担当の都合が悪くなり代わりにCLを引き受けた時、フクジュソウの花期と合いそうなのでそれをメインにコースを考えた。ルートはこれまで歩いたことのない杉谷経由で帰路も高槻方面とした。幸い天気にも恵まれ満開のフクジュソウを見ることができた。善峯寺バス停から杉谷までは東海自然歩道の舗装路を登る。途中歩き順を変えたりして杉谷集落へ、金蔵寺への道と分かれ左の林の脇をすすむ。山道に入り谷沿いを行き、右手の山腹を少し登ると稜線に出る。休憩をして送電線を見て南へ半時間ほどすすむと釈迦岳からの稜線にでる。前の鉄塔にでて、マンサクの花が咲いているか見る。遠くて細部はわからないが枝先が黄色くなっていた。稜線に戻りポンポン山方面にすすむ。下見時は足元がぐちゃぐちゃしていたのが乾いていた。カタクリ保護柵を過ぎ、ポンポン山の手前を右に入り西尾根を下る。森林公園方面へアップダウンを繰り返しリョウブの丘を越え少し行くと、小広い広葉樹の疎林にでる。右手に看板のある所から窯ヶ谷の方へ下る。途中に自生地があり、代表で受付をすませ斜面を下る。保護している地元の方から「満開です」と聞く。斜面を降りて行くと、一面にフクジュソウの黄色い花が春の日差しに輝いていた。人も割と少なく写真を撮って一回り、広い疎林の所へ戻り昼食。風が出てきて少し肌寒い。帰途は、ポンポン山から東海自然歩道を高槻方面に降りる。山友会ではかつて15回の東海自然歩道を歩くシリーズがあり、ここを通ったはずだと山下さんから聞く。少しのアップダウンがあり、途中に天狗杉をみて本山寺境内に入る。摩尼車を回し境内でトイレ休憩をする。境内を出ると珍しい勸請掛があり檜がたくさん吊り下げてあった。ここからは東海自然歩道のコンクリート舗装路を下る。駐車場を過ぎたあたりからはアスファルトに替わり傾斜も緩やかになりのんびりと下る。神峯山寺でトイレ休憩後バス停に向かう。ポツンと雨粒を感じたが、バスに乗るなり小雨が降り出した。冬の眠りから覚め春の陽ざしを浴びたフクジュソウの満開に出会えたのは何よりだった。寒い冬が終わりこれからの登山シーズンに向け、いい足慣らしになったと思う。みなさんお疲れさまでした。

YAMAP 活動データ 6時間4分、12.9km、上り849m、下り986m

ヒヤリハット なし



ポンポン山山頂



本山寺勸請掛の前で



窯ヶ谷方面へ下る



フクジュソウ自生地



リョウブの丘



天狗杉



本山寺 摩尼車



豊臣秀頼が伏見桃山城から移築と伝わる門



神峯山寺

ポンポン山 感想

永江 淳子

○「ポンポン山」・・・可愛らしい名前に由来を尋ねると「頂上で飛び跳ねるとポンポンと音がする」と、何だか楽しそうです。踏みしまった固い土の上を跳ねてみると「ポンポン」と柔らかい音がしました。「ポンポン山」の登山は、登山口までの長い上り坂に苦闘しながら、先輩方にストックの使い方を教えてもらったり、励ましてもらったりと、早くも前途多難な始まりでした。そしてやっどこさ上った山を下って下って行った福寿草の花畑は今までの道のりを忘れるほどの清楚で可憐な姿でした。五時間半の山行のご褒美は、先輩からのサツマイモのスイーツです。甘酸っぱい優しい味も形も福寿草のようでした。ありがとうございました。

次は愛宕山です。一步一步“火伏の神様”に近づけるように頑張りたい。

倉光 展子

○いろいろな点で懐かしく思っていた「ポンポン山」に登ってきた。下見山行をしてきてくださったリーダーから、「福寿草は満開」と聞いていたので、期待を膨らませて行った。本当に福寿草は満開で広い斜面にこれ見よがしに咲いていた。鮮やかな黄色で自己顕示欲の強さを表している一方、風になびいている薄い花卉からは、弱弱しさ、優しさを感じた。そのアンバランスに心魅かれ、しばらく見入っていた。

福寿草と言えば、まず鈴鹿山系の藤原岳を思い出す。そして藤原岳と言えば、山友会の先輩、徳田さんを思い出す。一昔前になるが、その頃、京都田辺山友会には個性的な、山の達人がいた。その一人の徳田さんは根っからの山男で、機敏な身のこなしで、山を走り回っているお猿さんのような軽やかさだった。そのシーズン、シーズンに合わせて、決まった山に律義に登るといふ山詣も面白かった。厳しい冬には「エビのしっぽ」の高見山へ、福寿草の季節には藤原岳へ・・・

一回藤原岳に参加させてもらったことがある。そこで雑炊をふるまってもらった。味の方はしっかり覚えていないが、個性的な、おいしい雑炊だった。単純な私の中では福寿草→藤原岳→徳田さん→雑炊 という連鎖がいつまでもあるのは、「花より団子」の私らしいところか。

もう一つの思い出。ポンポン山と言えば、英語で Mt. Pompon になる。新人の教員の頃、英語の授業で、Mt. Fuji is much higher than Mt. Pompon. と比較級の指導に導入した。Mt. Pompon は期待以上に子供の心を捉え、流行した。その頃の子供は単純で純粹だったのかなあと驚く。何よりも比較級は期待以上に定着したのが幸いだった。そんな、こんなを思い出しながら、山頂で、何度も飛び上がりながら音を確認めた。ポンポンと確かに聞こえてきた。どこかのおじさんがにやっと笑っているのに気がついて我に返った。そのあと、「本当にポンポンと聞こえますね」と言ってくれたのに救われた。

上田 秀子

○久しぶりのポンポン山で善峯寺の道は初めてでしたが、険しくもなく同行の皆さんと会話を楽しみながら歩きました。頂上手前で福寿草の咲く場所はかなり下っていった斜面に沢山の福寿草が満開で綺麗でした。また登りたい山の一つになりました。平尾さん伊藤さんありがとうございました。

徳田 幸子

○ポンポン山 お世話になりました。天気も良く福寿草が可愛く咲いてくれて良かったです♪(^)v 写真ありがとうございます。

大林 京子

○昨日はお疲れ様でした。可愛い福寿草を見せて頂きありがとうございました。久しぶりの山、楽しい1日ありがとうございました。

伊藤多恵子

○CL も SL もピンチヒッターの例会でした。CL の H さんはいつも通り完璧な仕事ぶりですが、生来大雑把な私はこの日もポカばかりしました。考えてみれば、山友会に入るまでは気ままな山歩きをしていただけでしたので、どうやら少し“非常識”なところもあるようで…。屋久島・南九州の旅で、健康保険証を携帯していなかったことを Y さんに呆れられたのですが、この日も Y さんに「健康保険証持ってる？」と訊かれて、「えっ、みなさん、持ってるのですか？」と驚いて尋ねたら、周りの人は「持ってる」と。(反省その1) 東海自然歩道の上りで小休止。出発しようと、「そろそろ（行きましよう）」と言うつもりで「ジョロジョロ」と言ってしまう、「どこの方言？」と大笑いされてしまいました。(恥ずかしい！)

やはり上りの途中で靴底が突然パカッとはがれました。すぐに O さんが、紐を出してくれてくくりつけてくれました。おかげで一日無事に歩き通すことができましたが、自分で紐かテープを持っておくべきでした。一見、真新しそうに見える靴でしたが、友人にもらったために経年数が分からない。起こってから気付く経年劣化。(反省その2) 福寿草の群生地に向かおうとして、ミス・リード。下見までしていたのに、道を間違うなんて…。分岐点ではもっとしっかり確認しなくては！(反省その3)

と、頼りないことこの上ない S L でしたが、みなさん、懲りずにお付き合いくださいね。(SL 反省の弁)

